

修徳消防分団出初式

京都市消防団総合査閲へ

下京代表の勇姿



三浦下京消防団長による手帳点検
西脇下京消防団長と

せんだんホールが多勢の学区民の皆さんが激励の目を向ける。出初式は、服装点検、手帳点検、行進訓練など査閲の模様を披露した。この出初式の後、1月20日、2月5、12、20日と手帳点検、行進訓練を続け、加えて1月27日、2月24日には小型動力ポンプ放水訓練を京都府消防学校で実施した。査閲訓練は、これらの基本的な動作と、学区の防火防災の啓蒙活動や“火の用心”などの予防活動が含まれている。その相乗効果が、修徳学区の火災ゼロを続ける原動力になり、学区民の皆さんの家の方が一のときの初期消火には、京都市総合査閲1位を目指す実力が威力を発揮する。

学区民が消防分団を激励



お買物に、また、ふれあいにと
多勢の方々の熱気が溢れる会場

お買い物つきバザー

2月17日(日) 修徳せんだんホールは朝10時から、『おもしろつきりバザー』で活気に溢れ、お買物に、また、ふれあいにと、多勢の方々が来られました。少年補導委員会では、何度も協議しながら、初のバザー開催ではありましたが、無事終えることができました。お買物をしていただいたり、また、商品を提供してくださった、たくさん

少年補導委員会初めて開催

学区民の方々にお願いします。申しあげたいと思います。参加されました皆様のご意見やご感想などを聞かせ願えれば幸いです。役員お手伝い一同、感謝と感激でいっぱいでした。ありがとうございました。

五条少年補導委員会
修徳支部
副支部長 櫻田鈴美

新年度の重点項目

地区計画を地区整備計画へ アクション入居者の加入促進

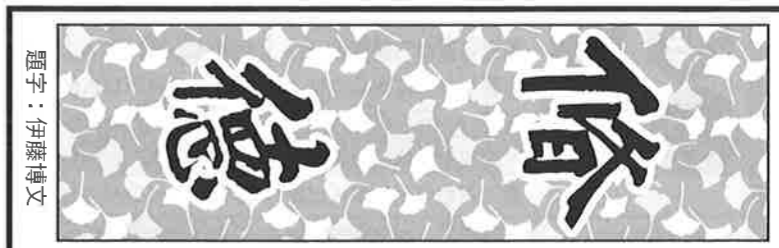
『地区計画』を建築確認を超え、弾制力をもつ

『地区計画』を建築確認がよく考え、話し合っ

『地区計画』を建築確認がよく考え、話し合っ
できない。学区民みんな
方式が定着しないと安心
づくりで試みた全員納得
法が多数決でなく、公園
えは、ものごとの決定方
ちである。人数の面では
とに加入の状況もまま
は現状では、町内会
い。アクションについて
の危機管理ができていな
る。とくに、防災や防犯
分がアクション住民であ
る。修徳学区の人口の半
入促進も、重点目標であ
アクション入居者の加
④弱者のための道路
⑤町並みとアクション

④弱者のための道路
⑤町並みとアクション
⑥住環境の保全と健康
保しなければならぬ。
つた経費削減で予算を確
このためには、思い切
を設ける予定である。
そのため、つぎの分科会
を設ける予定である。
に、還元できるように
な静かな気概もある。
してきたい。
区民のための事業計画に
画をするのではなく、学
な局面で、学区民の皆さ
これは不快な環境や健
この不安な環境を排除す
この結論に到達したい。
団体の行事や広報紙、会
い、具体的に検討して、
もつひとつ、各委員会
1ス予算である。
学区民の皆さんと一緒
引きずられない「ゼロペ
項目である。
ることが、新年度の重点
『地区整備計画』に高め

つけられた予算で事業計画をたてないで 学区民のための事業計画に予算をつける 評議員会 新しい組織体制を承認



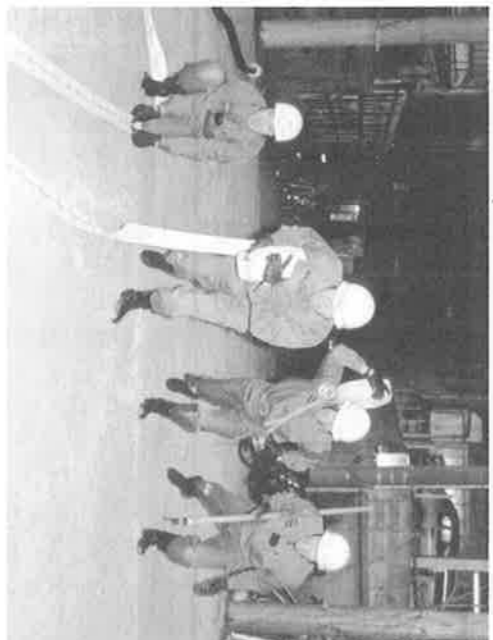
題字：伊藤博文

会 会 会 賞 之
行 連 員 協 議
治 委 福 社 協 議
自 治 委 福 社 協 議
修 徳 社 会 福 祉 協 議
修 徳 社 会 福 祉 協 議
発行責任者 篠原 宏之
編集責任者 小南 章美
印刷 所 南 京 美 ア リ ン ト

毎年、社会福祉法人
下京区社会福祉協議
会からの助成金をいた
だいて、広報紙作成
の助にいたしてお
ります。

日々是訓練

来る六月二日の『京都市の総合査閲』に向け、昨年十月より訓練を始めて早五カ月を過ぎ、今や基本的な行動は出来上がり、各部分の細かい動作のチェックの段階に入ってきております。各団員には、日頃忙しいなか、訓練に集まり、集中力をもって練習いたしております。学区民の皆様は日頃の訓練を見学していただければ、われわれには大いに励みとなります。ぜひ、よろしく願いましたと存じます。練習場所は修徳せんだんホールまたは、成徳中学校グラウンドで、時間は夜の七時半からです。



消防分団の夜の放水訓練 (成徳中学校校庭)

情報交換手段の幅を広げる

どの情報交換手段の幅が広がる。また、各種団体、委員会から、健康、福祉、子育てなど、精神物質面の生活環境の新しい情報や問題解決の方法が提供され、学区民の検案につけられた予算で事業計画、I.T.など、いろいろな局面で、学区民の皆さんに、還元できるようにしてきたい。
三役会の『企画財務委員会』で、各委員会各種団

経費削減 思い切った

『地区整備計画』に高め
ることが、新年度の重点
項目である。
学区民の皆さんと一緒
もつひとつ、各委員会
に、具体的に検討して、
この結論に到達したい。
これは不快な環境や健
この不安な環境を排除す
に、還元できるように
な静かな気概もある。
してきたい。
区民のための事業計画に
画をするのではなく、学
な局面で、学区民の皆さ
これは不快な環境や健
この不安な環境を排除す
この結論に到達したい。
団体の行事や広報紙、会
い、具体的に検討して、
もつひとつ、各委員会
1ス予算である。
学区民の皆さんと一緒
引きずられない「ゼロペ
項目である。
ことが、新年度の重点
『地区整備計画』に高め

夢の半径、広がるね。
CHUSHIN
五条支店
五条通西洞院角
電話(351)2951

女性の集い

社協 女性会 民生 共催

滑稽! おてもやん踊り

女性会役員総出 観客席大笑い

平成八年度にはまっ
た『女性の集い』も、今
年で六回を迎えました。
毎年、とく工夫された企
画で行なわれてきたとい
う印象があります。これ
まで仮設会議室での『集
い』でしたが、今回新
しい『修徳さんだんホ
ール』で開催することに
なり、役員一同はきつ
く準備に取り組みまし
た。広々とした美しいホ
ールは、自由に動くとこ
ろがで、二日間にわたる
準備が爽り、素晴らしい
会場に生まれ変わりました。
自治連合会の役員の方
と秋篠様、七十九名もの
ご来賓のご出席を賜り、
を『お笑い』を交えてご
紹介すると、皆様の吹き
出し笑いが飛び出しまし
ました。普及お見かけしな
い。普段お見かけしない
一面を覗くことができま
した。乾杯に移り、平井
さん踊り、黒葉菜に真
常夫様の発声で『こんな
に大勢のお集りは、なん
ご誕生で、気持ちや和
らぐ。お人柄です。今後、女性
会の益々の発展をお祈り
しました。
『来賓のご出席を賜り、
その上、会員の皆様、合
わせて百二十四名の参加
となり、
今日、十二月一日は、
とても記念すべき日にも
なりました。みんなが待
望已久的に『お笑い』が
いよいよ開催です。今後、女性
会の益々の発展をお祈り
しました。

人気の蛤のお吸い物もできました

午後六時三十分開始
いたします。と、暖か
いお言葉でした。その後
り、中村会長の挨拶、つ
いて自治連合会会長様
原様より、ご挨拶をいた
だきました。
準備が爽り、素晴らしい
会場に生まれ変わりました。
自治連合会の役員の方
と秋篠様、七十九名もの
ご来賓のご出席を賜り、
を『お笑い』を交えてご
紹介すると、皆様の吹き
出し笑いが飛び出しまし
ました。普及お見かけしな
い。普段お見かけしない
一面を覗くことができま
した。乾杯に移り、平井
さん踊り、黒葉菜に真
常夫様の発声で『こんな
に大勢のお集りは、なん
ご誕生で、気持ちや和
らぐ。お人柄です。今後、女性
会の益々の発展をお祈り
しました。



「来年もぜひみたい。楽し
みにしています。」と
の声をいただきました。役員一
ごいしました。
女性会 多田 啓子

火事往來

平成十四年 一月二十日	誕生 おめでとう	藤田 藤雄(中野之)
平成十四年 二月十日	転入 よろしく	岡田 先生(布屋)
平成十四年 八月二十日	転出 お見送り	大嶋 義美(深草)
平成十四年 十二月二十五日	市消防受贈奨励金	(株)ダイト(御供石)

訃報

十一月二十日	訃報	藤田 藤雄(中野之)
十二月八日	訃報	松川 安雄(材木)
十二月十四日	訃報	野川 幸子(飯下)
十二月十九日	訃報	和野 紀野(飯下)
十二月二十五日	訃報	野川 幸子(飯下)
十二月二十八日	訃報	森 浩司(富永)

十一月二十日	訃報	藤田 藤雄(中野之)
十二月八日	訃報	松川 安雄(材木)
十二月十四日	訃報	野川 幸子(飯下)
十二月十九日	訃報	和野 紀野(飯下)
十二月二十五日	訃報	野川 幸子(飯下)
十二月二十八日	訃報	森 浩司(富永)

お知らせ

行政の関係先や、設計事務所、建築関係の企業などへ都市づくり推進課から配布される。強制力がなはいとはいえ、修徳学区の意向としては、例えば、マンションの低層化、緑化などのスペース確保など、行政指導の対象となり、影響力を発揮することが期待される。

洛央健康すこやか食事会

秋らしい献立に お喜びひとしお

今年度は下京区社会福祉協議会粟原事務局局長様、下京保健所伊藤保健婦様、成徳、格致学区の方々のご来賓をまじえ、六十二名のお食事会を先頭に役員一同に、ころをこめて作らせていただきました。毎度、吹寄せ、ナマの田楽、蛙の焼き魚、ほぐれ、お料理は、秋にちなんでいただきました。

今年度は下京区社会福祉協議会粟原事務局局長様、下京保健所伊藤保健婦様、成徳、格致学区の方々のご来賓をまじえ、六十二名のお食事会を先頭に役員一同に、ころをこめて作らせていただきました。毎度、吹寄せ、ナマの田楽、蛙の焼き魚、ほぐれ、お料理は、秋にちなんでいただきました。

今年度は下京区社会福祉協議会粟原事務局局長様、下京保健所伊藤保健婦様、成徳、格致学区の方々のご来賓をまじえ、六十二名のお食事会を先頭に役員一同に、ころをこめて作らせていただきました。毎度、吹寄せ、ナマの田楽、蛙の焼き魚、ほぐれ、お料理は、秋にちなんでいただきました。



「来年もぜひみたい。楽し
みにしています。」と
の声をいただきました。役員一
ごいしました。
女性会 川上 和子



「来年もぜひみたい。楽し
みにしています。」と
の声をいただきました。役員一
ごいしました。
女性会 川上 和子

大好評の役員サレバシ

老人福祉員の高橋政江さんと大八木とみさんの協力をい
ただいて、毎年大好
評の役員サレバシ
を十一月二十七日に
今年度も実施いたし
ました。

老人福祉員の高橋政江さんと大八木とみさんの協力をい
ただいて、毎年大好
評の役員サレバシ
を十一月二十七日に
今年度も実施いたし
ました。

老人福祉員の高橋政江さんと大八木とみさんの協力をい
ただいて、毎年大好
評の役員サレバシ
を十一月二十七日に
今年度も実施いたし
ました。

地区計画パンフ

関係先へ配布

行政の関係先や、設計事務所、建築関係の企業などへ都市づくり推進課から配布される。強制力がなはいとはいえ、修徳学区の意向としては、例えば、マンションの低層化、緑化などのスペース確保など、行政指導の対象となり、影響力を発揮することが期待される。

下京保護司会・下京北地区 保護観察協会 更生保護婦人会

成長期としての要因探る

さんだんホールで合同研修会

今年の三団体合同研修会は、修徳学区会員が「下京修徳ふれあい福祉会館」四階の「さんだんホール」に会場を設営し、お茶の接待、会場への案内など、全員が分担して、平成十四年二月十五日(金)に開かれました。

まず、大森保護司会から来ての犯罪がある。昨今、マシンの増加の、たぐ、特に、横・近

犯罪は少ないが、他所が

愛賢者のお知らせ

- 三月三日 市長表彰 下京区長表彰 市民憲章推進者 自主防災活動 推進功労表彰 篠原 實(月見)
- 三月六日 市長表彰 下京区長表彰 市民憲章推進者 自主防災活動 推進功労表彰 藤本佳裕(大江)

しつけと虐待を考える

民生児童委員会 中村 秀子

去る二月七日、児童問題シンポジウムが開催されました。

「しつけ」と「虐待」を「死ね」「おまえな」とともに、「解答もされ、方々が問題を提起されることを」

「たたく、なぐるの暴力を振るう。」

「親が子供をコントロールすることやめる。」

(四)「死ね」「おまえな」とともに、「解答もされ、方々が問題を提起されることを」

(三)親が子供をコントロールすることやめる。

(二)「たたく、なぐるの暴力を振るう。」

(一)おどかしや命令な構成としては、ごく日常的な親子の「しつけ」

「しつけ」と「虐待」を「死ね」「おまえな」とともに、「解答もされ、方々が問題を提起されることを」

「たたく、なぐるの暴力を振るう。」

(三)親が子供をコントロールすることやめる。

(四)「死ね」「おまえな」とともに、「解答もされ、方々が問題を提起されることを」

(二)「たたく、なぐるの暴力を振るう。」

(一)おどかしや命令な構成としては、ごく日常的な親子の「しつけ」



今回研修会は修徳更生婦人会がお世話した

修徳公園の安らぎをまわる会

昨日のボランティアのメンバーの報告と、決算、新年度役員などの清掃などの活動

修徳公園の安らぎをまわる会

二名が出席して、二月十七日、さんだんホールの名札やベットの整理対承認した。新年度に樹木

講演レジュメ「子どもたちの成長過程を考えよう」

京都保護観察所長 加藤 吉宏氏

成長過程	課題	問題点	帰結要因
乳幼児前期前半	信頼感、安心感	子育て環境の変化 核家族化 (1.39人) 育児ノイローゼ	子育て経験者との別居 女性の社会進出晩婚未婚の増加
幼児期後半	自我の非生えと自己主張	「嫌」と「絆」の意味	父母を中心に友人関係ができる 想像力が伸ばえられる 【興】 社会人としての形づくり 【絆】 結び目：親と子が綱を引っ張り合う
学童期	仲間づくりと自信づくり	遊びの消滅	学校の友達ができる 近隣から大きく行動範囲を広げる 人間関係・社会性を身につける 我々の欠如・逆ギレ現象
思春期	身体的変化と自分探し	思春期は親離れの時期：父親の存在	自立と依存の間で葛藤 親の価値観を否定する時期 過保護：親が子どもにも満足感を求め 父親らしさを示す：強さ、弱さ、辛さ、哀れさを教える 家庭内のコミュニケーションが少ない
青年期	自分づくり	社会的自立	

日 役員の水やりや、日曜日のボランティアのみ

なさんの清掃などの活動

報告と、決算、新年度役員

員(新年度便覧参照)を承認した。新年度に樹木

修徳公園の安らぎをまわる会

二名が出席して、二月十七日、さんだんホールの名札やベットの整理対承認した。新年度に樹木

ない。もしくは、解決していない。

たとしても、子供を思う親の気持ちは唯ひとつ、りの方たちに相談にのつてもらったり、話を聞いてもらう、ことには、今も昔も変わらなぬと思つている。

(六) 子供が言うことを聞かない。とくに二、三才の自我の始まりがむずかしい

分でも何かも背負わないで、子育てをしてほしいと言われました。

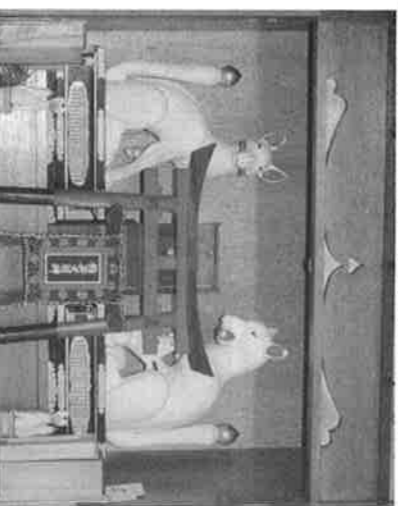
「子育て相談に つなげる何か」

わたくしも子育ての最

た、むずかしいのは、相談したい人がいて、それを受けられる所があつても、それをうまくつなげる向かないと、うまくつながらないような気がします。今回、一番感じました。この橋渡し、大切な所のように感じ、わたくしは、これを機会に、少しでもそのお手伝いができればと痛感しました。

元禄創業の金銀箔粉商

今は銅箔五社に入る世界的企業



修徳学区のみなさんは松原通の室町と新町の中間に「福田金属箔粉工業株式会社」と入口のカラスの扉に書いてある町家を「存じ」と思う。修徳学区の伝統のひとつもいえる元禄以来の由緒ある商家(今も登記上は本店)の紹介をしようと、中野之町の生き字引西村佳子さん(広報副委員長)のお世話で、二月二十五日午後福田金属箔粉工業さんの山科区西野山の本社を訪れた



松原通の福田金属箔粉工業さん

創業三百年を、平成十二年(二〇〇〇)に迎え工業さんの製品「メー」

た老舗企業は、創業時は『井筒屋』という看板を掲げて、元禄十三年(一七〇〇)三月に金銀箔粉板用銅箔になる。「銅箔」といわれる。

前には、銅箔やニッケル電工など銅箔五社に入

中野之町の亀山稲荷の碑がある。この亀山藩

の技術は自社オリジナルである

明治十二年に、松原通の本店向かいに、真鍮粉

の工場を建設された。お

社のお預かりしている。

福田家の今から五代前に

始まったらしい。稲荷祭

の神輿は、昭和三十年頃

呼ばれたという。ここに

手工業ではあつても工場

までは松原通を通じてい

た。(中野之町 西村佳

子さん談)官司が必ず立

料としての真鍮、銅など

の金属箔粉メーカーへの

稲荷祭になると、この額

を受け取りにいられると

いう。

広報委員長 小西 宏之

利用のコロナ(荒盤、粉場

で人力ですり潰す)方式

見稲荷大社のお旅所田中

社の神輿の額とキツネ一

もいろいろは、この工場

がつし(露路)にあつた

福田家の今から五代前に

始まったらしい。稲荷祭

の神輿は、昭和三十年頃

呼ばれたという。ここに

手工業ではあつても工場

までは松原通を通じてい

た。(中野之町 西村佳

子さん談)官司が必ず立

料としての真鍮、銅など

の金属箔粉メーカーへの

稲荷祭になると、この額

を受け取りにいられると

いう。

広報委員長 小西 宏之